

プチ里親の方から勉強会のお知らせです(11月15日開催)

2014年9月22日

「彦根市の地域医療を守る会」第29回 勉強会

日 時：平成26年11月15日(土) 10:00～11:30

場 所：彦根私立病院 医療情報センター

テーマ①：「彦根市の在宅医の現状と課題」

彦根市福祉保健部長 川 崎 孝 氏

テーマ②：「安心安全に暮らせるまちづくりをめざして、古沢町の挑戦」

古沢町 松 岡 孝 子 氏

☆詳しくは、こちらをご覧ください⇒ [彦根市の地域医療を守る会 第29回勉強会.pdf](#)

近江八幡市方面の医療と歴史・文化を学ぶ宿泊研修を実施しました！

2014年9月22日

8月28日(木)29日(金)に近江八幡市方面でNPO法人滋賀医療人育成協力機構に協賛し、平成26年度夏の宿泊研修を実施しました。本研修には、里親登録学生を含めた本学学生18名と近江八幡市立看護専門学校生2名が参加しました。

1日目は、まず琵琶湖最大の島であり、日本の湖水に浮かぶ島では唯一人が住んでいる沖島の自然と文化、1週間に一度開所される診療所の様子を見学させていただくことを目的に島を訪問しました。

島ではボランティアガイドの案内により、大人1人ほどが何とか通れる民家の間を抜け、奥津島(おきつしま)神社や西福寺などを見て回りました。

昼食には、島の婦人会の皆様による島の名産品を詰めた手作りのお弁当をいただいた後、コミュニティーセンターで毎週木曜日午後1時30分から、近江八幡市蒲生郡医師会の医師と近江八幡市立総合医療センターのスタッフで開所される診療所の様子を見学させていただきました。診療所では、自力で島外へ受診に行けないお年寄りの方々が診察に訪れられており、このような方々のためにも週一回の診療所の開所は必要不可欠なものであると感じられました。





次に近江八幡市立総合医療センターを訪問し、最初に西澤副院長から病院概要について説明を受けた後、院内を見学させていただきました。センターは全面ガラス張りで自然の光を取り入れた明るい病棟や、各診療科ごとに整理されアクセスしやすい外来、急性期に特化した救急設備などが充実していました。最後に、地域医療課清水参事から沖島での診療について説明をいただきました。学生からは、センターの地域医療課の役割等についての質問がありました。



夕方は、宿泊先であるグリーンホテルYes近江八幡において交流会を開催しました。

交流会の第1部では、近江八幡市蒲生郡医師会副会長 山本克與氏から「近江八幡地域における医師会活動と沖島等での医療活動の実情等について」、ヴォーリズ記念病院在宅サービス部門長(兼)訪問看護ステーション・ヴォーリズ所長 向 美保氏から「訪問看護ステーションでの活動報告」についてご講演いただきました。

また、交流会2部では、訪問先の関係者の方々や医師会の方、里親・プチ里親の方々など総勢11名の方にご参加いただき、各々の立場での地域医療についての役割や思いをお話いただく等、貴重な意見交換、懇談の場となりました。



2日目の午前も、ボランティアガイドの案内により近江八幡市の旧市街地を見学しました。まず、近江八幡の旧城下町や琵琶湖を一望できる八幡山に上がり、その後、ヴォーリズ建築を中心に旧城下町を散策しました。



午後からは、近江兄弟社ヴォーリズ記念病院を訪問しました。まず緩和ケア医の細井部長から、ホスピス医になられたきっかけやホスピス医の仕事についてお話をいただき、次に周防病院長から、病院概要について説明を受けた後、3月に出来上がった回復期リハビリテーション病棟、訪問看護ステーション等を見学させていただきました。また、礼拝堂の内部も見学させていただくことができ、その際には、丁度その場におられた安部牧師からお話を聞くことができました。学生は病院における牧師の役割等についても熱心に質問していました。





今
回
も
ま



た、地域の方々をはじめとして、たくさんの医療関係者等の方々にご協力いただき、地域医療について学びの多い研修となりました。この場をお借りして、ご協力いただきました皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。